

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	24224002	研究期間	平成 24 年度～平成 28 年度
研究課題名	無限群と幾何学の新展開	研究代表者 (所属・職) (平成 29 年 3 月現在)	坪井 俊（東京大学・大学院数理 科学研究科・教授）

【平成 27 年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる	
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究計画は、5つの研究テーマについて共同研究グループを組織して研究を進めるとともに、グループ間の研究交流を行って新しい研究を生み出すことを目的としている。今までに得られた研究成果は顕著であり、国際的にも高く評価されている。また、種々の研究集会の開催など、活発な活動を行っている。足りない点を挙げるとすれば、研究組織メンバー同士の共同研究の成果が、いまだはっきりとした新しい研究分野の開拓として現れていない点と、研究協力者として雇用されている多くの研究者が推進している研究の成果が見えていない点である。</p>		

【平成 29 年度 検証結果】

検証結果	当初目標に対し、期待どおりの成果があった。
A	本研究では、無限群に関連する幾何学の 5 つのテーマについて、国内の有力な研究者がそれぞれ研究を進めた。研究代表者による球面の同相群の単位元成分の研究をはじめ、それぞれのテーマについて国際的にも高く評価される成果を上げ、数多くの論文で研究成果を発表した。さらに、国際研究集会をはじめ毎年研究集会を開催し、研究者相互の交流を活発に行いながら研究を進めた。